【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和4年2月28日(2022.2.28)

【公開番号】特開2020-148789(P2020-148789A)
【公開日】令和2年9月17日(2020.9.17)
【年通号数】公開・登録公報2020-038
【出願番号】特願2019-43314(P2019-43314)
【国際特許分類】
Ｇ１０Ｋ 11/168(2006.01)
Ｂ６０Ｒ 13/08(2006.01)
Ｇ１０Ｋ 11/16(2006.01)
Ｂ３２Ｂ 7/025(2019.01)
Ｅ０４Ｂ 1/82(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１０Ｋ 11/168
Ｂ６０Ｒ 13/08
Ｇ１０Ｋ 11/16 １２０
Ｂ３２Ｂ 7/025
Ｅ０４Ｂ 1/82 Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和4年2月17日(2022.2.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
順に設置された、第一導電強磁性体層と、帯電絶縁体層と、第二導電強磁性体層と、を備え、
前記帯電絶縁体層の帯電部と、前記第一導電強磁性体層及び前記第二導電強磁性体層とは電気的に絶縁されており、
音波により前記第一導電強磁性体層、前記帯電絶縁体層及び前記第二導電強磁性体層の何れかが振動することで、前記第一導電強磁性体層と前記第二導電強磁性体層において磁場が変化し、音波のエネルギーを熱エネルギーとして失わせることで防音することを特徴とする防音材。
【請求項２】
前記帯電絶縁体層は、前記第一導電強磁性体層及び前記第二導電強磁性体層により静電遮蔽及び磁気遮蔽されていることを特徴とする請求項１記載の防音材。
【請求項３】
前記第一導電強磁性体層と前記帯電絶縁体層との間に第一隙間層が形成されると共に、前記帯電絶縁体層と前記第二導電強磁性体層との間に第二隙間層が形成され、
前記第一導電強磁性体層及び前記第二導電強磁性体層が前記帯電絶縁体層に対してそれぞれ相対的に移動可能に構成されていることを特徴とする請求項１又は２記載の防音材。
【請求項４】
前記第一隙間層及び前記第二隙間層は、シリコンゲル層又はシリコンゴム層であることを特徴とする請求項３記載の防音材。
【請求項５】

前記帯電絶縁体層は、前記第一導電強磁性体層と一体に設置された第一帯電絶縁体層と、
前記第二導電強磁性体層と一体に設置された第二帯電絶縁体層と、を備え、
前記第一帯電絶縁体層と前記第二帯電絶縁体層とは、真空層である隙間層を挟んで対向設置され、前記第一帯電絶縁体層と前記第二帯電絶縁体層との間に作用するクーロン力である斥力が周囲の大気圧と釣り合うように構成されていることを特徴とする請求項１又は２記載の防音材。